

区民ワークショップ実施報告

1 深川北部地区

第1回：自分たちのまちの魅力と課題を考えよう

第2回：自分たちのまちの「こうしたい」を考えよう

第3回：自分のまちのプロジェクトをまとめよう

区民ワークショップ実施報告

1 深川北部地区

■第1回 自分たちのまちの魅力と課題を考えよう

■第1回ワークショップ（オンライン会議）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川北部地区（小島橋地区） 結果まとめ

■深川北部地区

河川沿い
水辺の活用
→江東区ではどうにもできない？
→川辺を活用できれば魅力になる

清澄白河
公園、みんなが使える空間が多い

地下鉄8号线
南北方向の交通ネットワーク 実際は？
→必ずしも電車なくても良いのでは

3つのエリア 亀戸、深川、湾岸
エリア内で生活 済んでしまふ

地域内での消費
自転車がないと厳しい！
→スーパーに行くのも大変
→区外に出るよ

通学 木場から豊洲キャンパスまで自転車利用
→縦方向の移動は不便を感じる

8号線あった方がいい
→家族連れ
南部も魅力スポットが多い
区外の来客者もアクセスしやすい
インフラを整備することでできることは広がる

木場公園
KIBACO
木場公園の飲食店
公園の中での楽しみ方も柔軟
木場公園の飲食店
気持ちの良い公園 空間が形成されている
→木場公園の飲食店 公募
実際に結構大変な過程
行政の計画が効いて実現している
区としてできること？
→公事業 柔軟にできる仕組みは課題

木場公園
自然が多く、スポーツ等のイベントが楽しめる屈指のスポット
災害時避難場所
街区公園や民有地内のみどり：埋め立て地から成る市街地で身近に感じることができる自然

木場公園
みどりが身近にある 暮らしやすい水辺が近い

木場公園があることで
まちのどんな良い影響があるのか
あまり生活の中で実感はない

魅力
課題
・黒字：事前意見
・赤字：当日意見

1

■第1回ワークショップ（オンライン会議）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川北部地区 意見整理

木場公園 緑地空間、公園の使いこなし

緑地空間
木場公園：自然が多く、スポーツ等のイベントが楽しめる屈指のスポット
災害時避難場所
街区公園や民有地内のみどり：埋め立て地から成る市街地で身近に感じることができる自然
アフターコロナで、生活圏至近の自然豊かな環境はより貴重

快通な公園
KIBACO
木場公園の飲食店
公園の中での楽しみ方も柔軟
気持ちの良い公園 空間が形成されている

民間活用制度
木場公園の飲食店 公募
実際に結構大変な過程
行政の計画が効いて実現している

魅力
課題
・黒字：事前意見
・赤字：当日意見

清澄白河 アートとカフェ、リノベーション 地域コミュニティ

歴史資源
清澄庭園
深川図書館
深川江戸資料館
街歩き拠点、インパウンドツアー拠点
特に江戸東京博物館の休館日

アートとカフェ
昔ながらの街並みと現代美術館というアートの調和、カフェやバーだけでなく個性的な店も増え、新しい発見や楽しさがある
東京現代美術館、ギャラリーや、清澄白河周辺に集まるカフェ：アートやおしゃれなお店など、集客、訴求力のある地域資源
サードウェーブの受け皿となるカフェ：コロナ禍の中でまち歩きを楽しむ
ブルーボトルコーヒー等、オシャレ感が出てきた

リノベーション
住居在の市街地のリノベーションは自然発生的、担い手に対するインセンティブ不十分
古い街並みや商店街を残しながら、若者が好む現代アートやグッズ、カフェ、バーなどが集まる魅力的な街に進化
自然、文化、アートが調和できている
清澄白河、平野町エリアの良さを広げたい

地域コミュニティ
元加賀公園 防災活動
同窓会アパートの建て替え
マンションのコミュニティ

森下周辺 商店街、駅前空間

商店街
のらくらの個性
商店街の個性を押し上げていく
高橋商店街、高橋のらくらード
→活かしたい

駅前空間
各駅前空間：地下鉄駅である特性上、駅前でありながら滞留する空間がなく、まちの拠点となり得る空間であらうが、通過するだけの場所になっており、まちの店舗空間が中心部に乏しい印象を受ける

森下付近（高橋商店街付近含む）：
・レンタサイクルシェアサイクルがない、木場公園までの直通がない
・子供のいる家庭は深川北部から出てしまう
・森下は交通の便がいいが、区境で注目されず、住民も他区に行きがちで、通り過ぎる便利しかない
・小さな公園はあるが、マンションで橋雪なども発生
・高橋商店街は新築代替が進んでいない

商店街
森下、住吉、清澄白河：都営新宿線3駅（都心のアクセシビリティの良さ）
交通（安全）
安全なまちにしたい
区境に住んでいる→森下に着目
選んだ理由：交通の便がいい（都心への利便性が高い）

商店街と大型店舗
→ライク深川に人が集まっている
→よくもあるが、商店街が衰退

高橋商店街
のらくらの個性
商店街の個性を押し上げていく
高橋商店街、高橋のらくらード
→活かしたい

高橋商店街と大型店舗
→ライク深川に人が集まっている
→よくもあるが、商店街が衰退

清澄白河
清澄白河にはチェーン店が少ない
→魅力に感じている
→とんとお寺の土地で進出しよう
→専門店（場所の広さが必要ない）が集積
→まちのカラーになっている

商店街の道路の使い方
多様に使われている

個店の魅力
清澄通りの高橋から清澄白河交差点まで横断歩道がなく、乱横断がとても危険

川沿い
水辺の活用
→江東区ではどうにもできない？
→川辺を活用できれば魅力になる

公園
みんなが使える空間が多い

地下鉄8号线
南北方向の交通ネットワーク 実際は？
→必ずしも電車なくても良いのでは

3つのエリア 亀戸、深川、湾岸
エリア内で生活 済んでしまふ

地域内での消費
自転車がないと厳しい！
→スーパーに行くのも大変
→区外に出るよ

通学 木場から豊洲キャンパスまで自転車利用
→縦方向の移動は不便を感じる

8号線あった方がいい
→家族連れ
南部も魅力スポットが多い
区外の来客者もアクセスしやすい
インフラを整備することでできることは広がる

木場公園
KIBACO
木場公園の飲食店
公園の中での楽しみ方も柔軟
木場公園の飲食店
気持ちの良い公園 空間が形成されている
→木場公園の飲食店 公募
実際に結構大変な過程
行政の計画が効いて実現している
区としてできること？
→公事業 柔軟にできる仕組みは課題

木場公園
自然が多く、スポーツ等のイベントが楽しめる屈指のスポット
災害時避難場所
街区公園や民有地内のみどり：埋め立て地から成る市街地で身近に感じることができる自然

木場公園
みどりが身近にある 暮らしやすい水辺が近い

木場公園があることで
まちのどんな良い影響があるのか
あまり生活の中で実感はない

魅力
課題
・黒字：事前意見
・赤字：当日意見

3

■第1回ワークショップ（オンライン会議）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川北部地区（白河地区） 結果まとめ

■深川北部地区

白河川沿い
水辺の活用
→江東区ではどうにもできない？
→川辺を活用できれば魅力になる

清澄白河
公園、みんなが使える空間が多い

地下鉄8号线
南北方向の交通ネットワーク 実際は？
→必ずしも電車なくても良いのでは

3つのエリア 亀戸、深川、湾岸
エリア内で生活 済んでしまふ

地域内での消費
自転車がないと厳しい！
→スーパーに行くのも大変
→区外に出るよ

通学 木場から豊洲キャンパスまで自転車利用
→縦方向の移動は不便を感じる

8号線あった方がいい
→家族連れ
南部も魅力スポットが多い
区外の来客者もアクセスしやすい
インフラを整備することでできることは広がる

木場公園
KIBACO
木場公園の飲食店
公園の中での楽しみ方も柔軟
木場公園の飲食店
気持ちの良い公園 空間が形成されている
→木場公園の飲食店 公募
実際に結構大変な過程
行政の計画が効いて実現している
区としてできること？
→公事業 柔軟にできる仕組みは課題

木場公園
自然が多く、スポーツ等のイベントが楽しめる屈指のスポット
災害時避難場所
街区公園や民有地内のみどり：埋め立て地から成る市街地で身近に感じることができる自然

木場公園
みどりが身近にある 暮らしやすい水辺が近い

木場公園があることで
まちのどんな良い影響があるのか
あまり生活の中で実感はない

魅力
課題
・黒字：事前意見
・赤字：当日意見

2

■第1回ワークショップ（オンライン会議）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川北部地区 意見整理

隅田川沿い 水郷都市、内部河川、河川空間活用

地域資源
隅田川沿い：ランニングスポット
街歩きや散歩、夜景がきれい
芭蕉記念館：俳句会を開催
区外、複数回利用も多い

内部河川
河川と周囲の街並み：これだけ河川が多い地域も珍しい、デザイン豊かな隅田川沿いに植えられた桜、散歩道など江東区を代表する魅力あるポイント
川沿いに植えられた桜がいついそいそ満開になる姿は圧巻。数多い橋も、形やデザインが異なる江東区の個性を際立たせている
大横川、小名木川：水辺空間、空が開け風が抜ける開放的な空間

河川空間の活用
水辺の活用
→江東区ではどうにもできない？
→川辺を活用できれば魅力になる

魅力
課題
・黒字：事前意見
・赤字：当日意見

安全・安心 水害、地震、防災

水害、地震
エリア自体の問題：地盤や水害に対する問題があり、地域を挙げた対策を強化していく必要があると思います
水害地域：荒川の氾濫時、最大2週間の浸水期間では避難生活が困難

防災
各学校の通学路；ineなどで送られる不審者情報が多いと感じる。こども110番などを活用して子供たちがより安全に歩ける街づくりを行ってほしい、と思う

道路・交通 アクセシビリティ、交通環境、地下鉄8号线

アクセシビリティ
森下、住吉、清澄白河：都営新宿線3駅（都心のアクセシビリティの良さ）
交通（安全）
安全なまちにしたい
区境に住んでいる→森下に着目
選んだ理由：交通の便がいい（都心への利便性が高い）

高橋商店街
のらくらの個性
商店街の個性を押し上げていく
高橋商店街、高橋のらくらード
→活かしたい

高橋商店街と大型店舗
→ライク深川に人が集まっている
→よくもあるが、商店街が衰退

清澄白河
清澄白河にはチェーン店が少ない
→魅力に感じている
→とんとお寺の土地で進出しよう
→専門店（場所の広さが必要ない）が集積
→まちのカラーになっている

商店街の道路の使い方
多様に使われている

個店の魅力
清澄通りの高橋から清澄白河交差点まで横断歩道がなく、乱横断がとても危険

川沿い
水辺の活用
→江東区ではどうにもできない？
→川辺を活用できれば魅力になる

公園
みんなが使える空間が多い

地下鉄8号线
南北方向の交通ネットワーク 実際は？
→必ずしも電車なくても良いのでは

3つのエリア 亀戸、深川、湾岸
エリア内で生活 済んでしまふ

地域内での消費
自転車がないと厳しい！
→スーパーに行くのも大変
→区外に出るよ

通学 木場から豊洲キャンパスまで自転車利用
→縦方向の移動は不便を感じる

8号線あった方がいい
→家族連れ
南部も魅力スポットが多い
区外の来客者もアクセスしやすい
インフラを整備することでできることは広がる

木場公園
KIBACO
木場公園の飲食店
公園の中での楽しみ方も柔軟
木場公園の飲食店
気持ちの良い公園 空間が形成されている
→木場公園の飲食店 公募
実際に結構大変な過程
行政の計画が効いて実現している
区としてできること？
→公事業 柔軟にできる仕組みは課題

木場公園
自然が多く、スポーツ等のイベントが楽しめる屈指のスポット
災害時避難場所
街区公園や民有地内のみどり：埋め立て地から成る市街地で身近に感じることができる自然

木場公園
みどりが身近にある 暮らしやすい水辺が近い

木場公園があることで
まちのどんな良い影響があるのか
あまり生活の中で実感はない

魅力
課題
・黒字：事前意見
・赤字：当日意見

4

■第1回ワークショップ（書面開催）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川北部地区 結果まとめ

■深川北部地区

通学路の変更：小学生の通学路として危険が多い

・深川神明宮：深川の地名を頂いた深川八郎右衛門が創建した神社(深川発祥の地)

・神社群：歴史を語るうえで

・隅田川沿い：開けた空間で散歩等に最適

・新大橋：江東区で隅田川に最初に掛けられ、芭蕉や広重にも愛された橋

・新大橋1丁目：リンゴの唄の歌手木路子さんが戦前住居があった所の紹介

・隅田川テラス：隅田川に沿って公園が整備されていますが新大橋～清洲橋間の景観が特に素晴らしい

・新大橋：歌川広重が描いた名所江戸百景の中に代表的な名画「大はあたけの夕立」の説明看板を新大橋のたもとに設置してほしい

・隅田川沿い：開けた空間で散歩等に最適

・清洲1丁目：戦前はアサメント工場があり、倉庫が多い町でした。他の町会を少し成長しながら変わった町になりました。

・一の橋通り～万年橋通り：忠臣蔵の四十七士が吉良邸より泉岳寺を引き上げる際、行列が行き通した通を紹介する看板

・清洲公園、木場公園、猿江公園：大きな公園が近く3つあり、緑に触れられる機会が多い

・清洲庭園：名跡として

・清洲通り（旧三ツ目通り）：明暦の大火後に作られた翌川に架かる五ツの橋が作り、現在は三ツ目通り、四ツ目通りのみ残り、一つ目、二ツ目、五ツ目通りの複線路を望む

・深川江戸資料館：せまかくの魅力発信スポットなので若い人向けの何か（イベント？）を発信しては？（しているのかはわかりませんが）

・住吉：歩道の狭さ及び難走自転車

・住吉：地下鉄・バスと交通の便が良い。猿江公園・しの道等散歩しやすい

・高橋重船場：日通の発祥の場所としてのPRと江東区内の乗船場と隅田川をなぐりしづ港の役割を考える

・下町の風情があること

・三ツ目通り：歩道が狭い

・大橋川：桜の季節は両岸に花とカサガシラ猿江橋からの眺めは絶景です。

・猿江地区：街路地にも花を植えては

・小名木川の五木松：浮世絵に枝もかかれた名所を小名木川航行中の船上から確認できるようにしたい

・小名木川：親水性を感じることできるポテンシャルあり。見晴しが良い；大きな公園が近くに3つあり、緑に触れられる機会が多い

・小名木川川：遊歩道の整備が必要。水上でのイベントをもっとやってほしい

・清洲白河エリアの小規模事業者：建物を利用し出してほしい。店舗等が早く点灯して、歩いて楽しいエリアである。寺町という点も良い

・木場公園周辺：緑が多い。川沿いの遊歩道や駅までの道が整備されており、都会だが静かならしい

・清洲白河(木場公園近く)：一方、歩道の水はけが悪いと思う。大雨時に少く心配する。住宅の路地が狭い所も残っており、探索するは楽しいが、有事の際には問題にならないのか心配(課題であればいいのですが)

・清洲白河(木場公園近く)：一方、歩道の水はけが悪いと思う。大雨時に少く心配する。住宅の路地が狭い所も残っており、探索するは楽しいが、有事の際には問題にならないのか心配(課題であればいいのですが)

・区境の改革：防犯防災その他狭い場所での対応が困難

・仙台堀川：木場公園の橋梁の景観はGood、だがそれに見合う歩行空間が無い。あるけど欲しい

・清洲白河：
・消防車や救急車の音で目を覚ますことが多かったような。マンションで反響するのが音階地帯が大きくてたくさん出勤するの。なんだか普通より多いように感じました
・庶民的なスーパーの種類が少な。マルエツとかアストアしかなかったような。そのマルエツもタマ価格が笑。物価だったり。若干食費が高つていて印象あり

凡例
魅力
課題

5

■第1回ワークショップ（書面開催）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川北部地区 意見整理

清澄白河 **歴史、カフェ文化、緑、交通、生活利便性**

歴史

- ・清洲1丁目：戦前はアサメント工場があり、倉庫が多い町でした。他の町会を少し成長しながら変わった町になりました。
- ・一の橋通り～万年橋通り：忠臣蔵の四十七士が吉良邸より泉岳寺を引き上げる際、行列が行き通した通りを紹介する看板
- ・清洲通り（旧三ツ目通り）：明暦の大火後に作られた翌川に架かる五ツの橋が作り、現在は三ツ目通り、四ツ目通りのみ残り、一つ目、二ツ目、五ツ目通りの複線路を望む
- ・深川江戸資料館：せまかくの魅力発信スポットなので若い人向けの何か（イベント？）を発信しては？（しているのかはわかりませんが）

カフェ・アート

- ・美術館あり公園が綺麗な川沿いの道やお洒落なカフェが多い
- ・清洲白河エリアの小規模事業者：建物を利用して出店しているカフェ、店舗等が早く点灯して、歩いて楽しいエリアである。寺町という点も良い
- ・便利、緑がある、安全、咖啡
- ・清洲の遊歩道は他の地域にない
- ・公園、緑が多い、比較的治安が良い住みやすい

生活利便性

- ・大型ショッピングモールやパチンコ、カラオケのネオンが目につく形、無く、子育て環境が良い、お店も個人経営が多く、個性がある。維持してほしい
- ・図書館がある。深川、東陽町、白河でも図書館、古石場、いたしい自治体の中心部一箇所にしかないというところが中で区内10箇所以上ある
- ・金融機関窓口がない、郵便局がない
- ・家賃が高い、狭い
- ・小児科が少ない
- ・有人の銀行、郵便局がない。清洲白河の三井友友銀行のATMも6月末で無くなった
- ・気軽に買えるチェーン店が少ない。マクドナルドやスターバードなど
- ・全店舗閉鎖中がない、郵便局がない
- ・家賃が高い、狭い
- ・小児科が少ない
- ・有人の銀行、郵便局がない。清洲白河の三井友友銀行のATMも6月末で無くなった
- ・気軽に買えるチェーン店が少ない。マクドナルドやスターバードなど

緑

- ・清洲公園、木場公園、猿江公園：大きな公園が近く3つあり、緑に触れられる機会が多い
- ・清洲庭園：名跡として

交通

- ・通勤地帯があまりない。木場からの東西線は混み合っているが、清洲白河からの半蔵門線や大江戸線北行きは朝でもそんなに混んでいない。清洲白河始発もあるの待ちは遅れたら
- ・全国や世界への出張が非常に便利。タクシーで東京駅まで2000円台で行き、東京駅より新幹線や東北、上越、北陸、東海道線ともすぐ乗れる。東京駅から成田空港までバスもある。TCAIまで行けば羽田空港・成田空港にバスで行ける
- ・二つの地下鉄路線が便利。バスも使いやすい
- ・交通の便が良い。駅前にお店が多く、昔ながらの川の情緒ある趣ある景色が広がる
- ・都バス路線が多い。錦糸町、押上、豊洲、晴海、お台場などにバス1本で行ける。しかも緑の路線は本数が少ない
- ・住吉：地下鉄・バスと交通の便が良い
- ・猿江公園・しの道等散歩しやすい
- ・自転車が便利。車を持つ必要がない。自転車15分以内の圏内にしたいのものが揃っている。公共施設（区役所、出張所など）、スーパー、ホームセンター、図書館、幼稚園、小学校、中学校、公園など。もちろんバスや地下鉄の乗りがよいこともメリット
- ・住吉：歩道の狭さ及び難走自転車
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い

自転車

- ・住吉：歩道の狭さ及び難走自転車
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い

凡例
魅力
課題

7

■第1回ワークショップ（書面開催）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川北部地区 結果まとめ

■清澄白河駅周辺

- ・通勤地帯があまりない。木場からの東西線は混み合っているが、清洲白河からの半蔵門線や大江戸線北行きは朝でもそんなに混んでいない。清洲白河始発もあるの待ちは遅れたら
- ・大型ショッピングモールやパチンコ、カラオケのネオンが目につく形、無く、子育て環境が良い。お店も個人経営が多く、個性がある。維持してほしい
- ・二つの地下鉄路線が便利。バスも使いやすい
- ・便利、緑がある、安全、咖啡
- ・清洲の遊歩道は他の地域にない
- ・公園、緑が多い。比較的治安が良い住みやすい
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い
- ・人が多い（休日には特に観光の方もいるので）のに、道が狭く、車連れて歩いていて、爆走してくる自転車が怖い

■深川北部共通

- ・交通の便が良い。駅前にお店が多く、昔ながらの川の情緒ある趣ある景色が広がる
- ・都バス路線が多い。錦糸町、押上、豊洲、晴海、お台場までバス1本で行ける。しかも緑の路線は本数が少ない
- ・図書館がある。深川、東陽町、白河でも図書館、古石場、いたしい自治体の中心部に一箇所にしかないというところが中で区内10箇所以上ある
- ・自転車が便利。車を持つ必要がない。自転車15分以内の圏内にしたいのものが揃っている。公共施設（区役所、出張所など）、スーパー、ホームセンター、図書館、幼稚園、小学校、中学校、公園など。もちろんバスや地下鉄の乗りがよいこともメリット
- ・森下、菊川、扇橋は、マンションがここ数年で非常に増えたが、人の多さの割にはお店が足りていない。いつも同じお店で食品を購入、ワンパターンになりやすい。駅から少し離れたところ、お店はない
- ・カフェは増えつつあるが、食事が出来るお店や銀行がない。特に住吉はマンションの数の割にカフェも少ない
- ・8号線開通の話はどうか

凡例
魅力
課題

6

■第1回ワークショップ（書面開催）「自分たちのまちの魅力と課題を考えよう」 深川北部地区 意見整理

隅田川沿い **水彩都市、内部河川**

ワークアール

- ・隅田川沿い：開けた空間で散歩等に最適
- ・新大橋：江東区で隅田川に最初に掛けられ、芭蕉や広重にも愛された橋
- ・新大橋1丁目：リンゴの唄の歌手木路子さんが戦前住居があった所の紹介
- ・隅田川テラス：隅田川に沿って公園が整備されていますが新大橋～清洲橋間の景観が特に素晴らしい
- ・新大橋：歌川広重が描いた名所江戸百景の中に代表的な名画「大はあたけの夕立」の説明看板を新大橋のたもとに設置してほしい
- ・仙台堀川：木場公園の橋梁の景観はGood、だがそれに見合う歩行空間が無い。あるけど欲しい

内部河川

- ・大橋川：桜の季節は両岸に花とカサガシラ猿江橋からの眺めは絶景です。
- ・小名木川の五木松：浮世絵に枝もかかれた名所を小名木川航行中の船上から確認できるようにしたい
- ・小名木川：親水性を感じることできるポテンシャルあり。見晴しが良い；大きな公園が近くに3つあり、緑に触れられる機会が多い
- ・小名木川川：遊歩道の整備が必要。水上でのイベントをもっとやってほしい

木場公園 **都市の緑**

- ・木場公園周辺：緑が多い。川沿いの遊歩道や駅までの道が整備されており、都会だが静かならしい
- ・清洲白河(木場公園近く)：一方、歩道の水はけが悪いと思う。大雨時に少く心配する。住宅の路地が狭い所も残っており、探索するには楽しいが、有事の際には問題にならないのか心配(課題であればいいのですが)

歩行者空間

- ・清洲白河(木場公園近く)：一方、歩道の水はけが悪いと思う。大雨時に少く心配する。住宅の路地が狭い所も残っており、探索するには楽しいが、有事の際には問題にならないのか心配(課題であればいいのですが)

森下周辺 **歴史、交通**

歴史資源

- ・深川神明宮：深川の地名を頂いた深川八郎右衛門が創建した神社(深川発祥の地)
- ・神社群：歴史を語るうえで
- ・五木松、六龍橋跡：江戸時代に作られた据割
- ・下町の風情があること

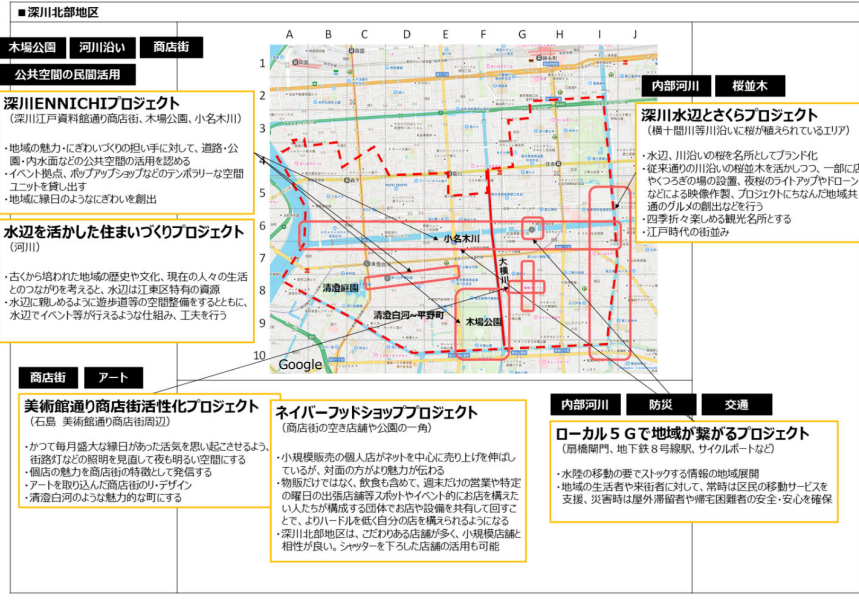
交通

- ・通学路の変更：小学生の通学路として危険が多い
- ・三ツ目通り：歩道が狭い
- ・森下駅周辺：スーパーなど、キータンになる大きな商業施設がないこと

凡例
魅力
課題

8

■第2回ワークショップ（オンライン会議）「自分たちのまちの『こうしたい』を考えよう」 深川北部地区 プロジェクト位置図

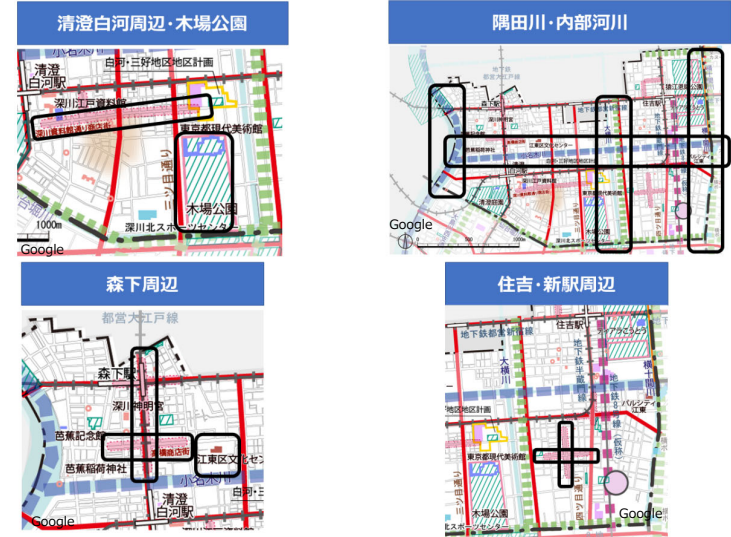


9

■第2回 自分のまちの「こうしたい」を考えよう

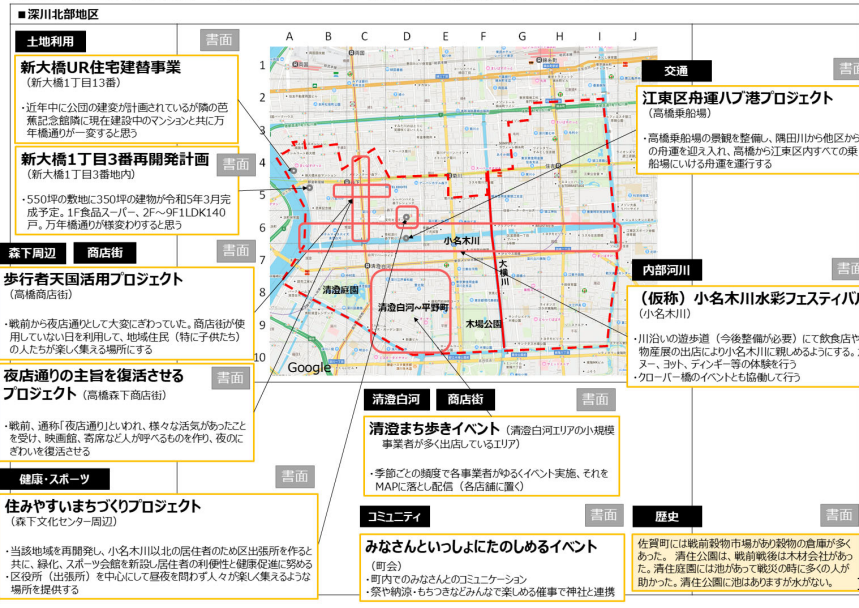
深川北部地区の検討エリア

第2回ワークショップにて、プロジェクトが多く寄せられたエリアを中心に、検討エリアを設定しました。



1

■第2回ワークショップ（書面会議）「自分たちのまちの『こうしたい』を考えよう」 深川北部地区 プロジェクト位置図



10

清澄白河周辺・木場公園

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見

将来イメージ案	将来イメージ (第2回WS意見)	取組 (第2回WS意見)
多機能な緑地や水辺空間等、公共空間の柔軟な活用が進むまち	震災復興により備えられたパブリックスペースを活用したにぎわいの創出	緑地や水辺、道路などの公共空間の活用：地域の魅力にぎわいつくりの担い手に対して、道路・公園・内水面などの公共空間の活用を認め、ポップアップショップなどのテンポラリーな空間ユニットを貸し出す 寺社境内を活用した町会イベント：神社などの敷地を活用した町会イベントによる賑わいの創出（餅つき、納涼祭）
リノベーションされたカフェや個性豊かなお店が集積するまち	空き店舗や小規模公共空間が活用され、地域に賑わいが広がるまち 地域の魅力づくりの担い手への支援が充実したまち 地域ブランディングとして、カフェ文化や個店の魅力発信が進む	空き店舗や小規模公共空間への、週末出店支援：小規模販売の個性豊かなお店、物販や飲食などの出店を支援（街区公園、道路、寺社境内など） 個店のイベント連携と情報発信：季節ごとの頻度で各事業者がゆるくイベント実施、それをMAPに落とし配信（各店舗に置く）まちあるきを地域の魅力として発信する 地域ブランディング（カフェ文化の発信）：咖啡屋の集積など、街づくりとしてブランディング（他地域への普及・展開）、空間に広がるコーヒーの香り、煙をまちの資源として捉え、江東区として売り出す
歴史文化・豊かな緑・アートの調和、個性豊かな店舗群によるまちあるきが楽しめるまち	まちに開かれた公園がある（美術館スタッフなども連携したアートの場づくり）	アートによるまちの魅力づくり：商店街のディスプレイや広告デザインなど、現代美術館のスタッフの方々と連携（アート）したまちづくり 木場公園や美術館スタッフ等との多様な主体の連携：木場公園に関係する方々（自然に詳しい方、美術館スタッフ、など）と連携

2

清澄白河周辺・木場公園

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見

アートによるまちの魅力づくり

緑地や水辺、道路などの公共空間の活用
(イベント、ポップアップショップ等による活用)

木場公園や美術館スタッフ等との
多様な主体の連携

地域ブランディング (カフェ文化の発信)

個店のイベント連携と情報発信

空き店舗や小規模公共空間への週末出店支援

神社境内を活用した町会イベント

エリア全体
アートと連携したまちづくり

・商店主さんへの支援
ショップの前にスツールを設置してお茶をしたり…商店主発信で店先を気軽に活用できる取組
清澄庭園の東屋や木場公園の広場空間、河川空間の緑道

・例：高内寺
小さい商店街やフリースペースを活用
個人で出店できるスペースを確保

・かかしコンクール (地域の子供たちや有志の方々と開催)
→水辺にも展開できると面白い
→パラアートなどエリア全体で展開していく

・公共空間は個人単位での活用はハードルが高い。ニーズを場所とマッチングしていくような仕組みづくり

・キッチンカーのマッチングを専門にしている事業者さんがいる。イベント的に出店をしてハードルを下げる。

・商店街 空き店舗の理解や協力が不可欠
個人事業主とオーナーが柔軟にマッチングできる

3

森下周辺

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見

将来イメージ案	将来イメージ (第2回WS意見)	取組 (第2回WS意見)
江戸時代からの歴史名所が地域に根付くまち	・ 地域の歴史を大切に、まちあるきを楽しむ人が、自然に歴史を感じられるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広重名勝江戸百景「新大橋あたけの夕立」の紹介：ゴッホも模写したことで知られる、広重名勝江戸百景で最も有名な新大橋の浮世絵を、新大橋のたもとで大々的に紹介する。 ・ 新大橋1丁目並木路子さん旧居の案内表示：リンゴの唄で有名な並木路子さんの旧宅跡地に、案内標示を出す。 ・ 一ツ目から五ツ目通りまで、江戸時代の通り名称の復活：萬年橋通りの名称を、江戸時代の名称である一ツ目通りとする。赤穂浪士が泉岳寺まで歩いた道としても知られる。(墨田区本所側は、一ツ目通りとしている)。五ツ目通りまで、名称を復活させる。

5

森下周辺

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見

将来イメージ案	将来イメージ (第2回WS意見)	取組 (第2回WS意見)
商店街の個性と魅力の情報発信が進み、にぎわいのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦前から「夜店通り」といわれた活気あふれる商店街、昼夜問わず人々が楽しく集える場所 ・ 下町の良さを生かす ・ 地域の情報や商店街でのイベント等を発信できる一体的な運営組織がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な地域づくり (SDGs)：デジタルインバウンドと、歴史を語り継ぐ地域文化創造と情報発信を組み合わせた「ものがたり」による観光まちづくり。水運、海岸、和船も活用し、若者も巻き込み、持続可能な地域づくりを目指す ・ 夜店通りの復活 (映画館や寄席)：かつて夜店通りと呼ばれたように、映画館や寄席などにより、賑わいを復活。また商店街の休日等を利用して、地域の子供たちが楽しく集える場所を作る ・ 商店街の運営サポート (のらくろのアピール)：商店街と協力したお祭りなど、森下でイベントを実施・企画する組織づくり。商店街のアピールとして、のらくろのキャラを活かした活性化 ・ 事業相談なども出来る交流スペース設置：区営のみちの駅など、人があつまる空間をつくる。店を構えたい、事業をしたい人も集められる核づくり ・ 情報発信の場・プラットフォームづくり：HPやTwitterなどによる発信 (下町ランチ等)、イベント・地域 (の店舗) 情報を発信。おいしいお店がくさんある (カレーパン発祥の店) などで、森下への来街者や新しく移り住んできた人に向けて、地域のお店などの情報を一目で見れるWEBページ、アプリなどをつくる。サイト/こみせ/の活用・アピール ・ 森下文化センターの再開発：小名木川以北の居住者のため出張所、緑化、スポーツ会館を新設し、利便性と健康を促進 ・ 森下からは、区役所にも乗換えが必要で、年寄りには行きづらいため、森下文化センターにも出張所、体育館を併設する ・ 活動継続のための町会参加の義務付け：一人暮らしのお年寄りの見守りや、避難・防災、お祭りなどの町会活動が地域を支えている。担い手不足を防止し、活動を継続するため、ワンルームマンション住民も含めた町会参加を条例で義務付ける
鉄道、バス、自転車、舟運などの交通利便性が高く、住みやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都心へのアクセスとともに、自転車の交通利便性が高い ・ 舟運により隅田川と内部河川を接続する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンタサイクル・シェアサイクルの普及 ・ 高橋乗船場を活用した、隅田川と内部河川の舟運による接続：高橋乗船場を整備し、隅田川から地区からの舟運を迎え入れ、高橋から江東区内すべての東船場に行ける舟運を、官民連携により運行する。高橋が、羽田、築地などの舟運レートのひとつになるよう、中川番所やスカイツリーラインも含めた活性化を図る。

4

森下周辺

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見

並木路子さん旧居の案内表示

広重名勝江戸百景「新大橋あたけの夕立」の紹介

森下文化センターの再開発

一ツ目から五ツ目通りまで、江戸時代の通り名称の復活

持続可能な地域づくり (SDGs)

夜店通りの復活 (映画館や寄席)

商店街の運営サポート (のらくろのアピール)

事業相談なども出来る交流スペース設置

情報発信の場・プラットフォームづくり

エリア外との連携

レンタサイクル・シェアサイクルの普及

・個別のスポットというよりは、商店街全体として取り組んでいくイメージ

・文化センター近くの商店街も活用

高橋乗船場を活用した内部河川と隅田川の舟運による接続

6

住吉・新駅周辺		■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区 ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見	
将来イメージ案	将来イメージ (第2回WS意見)	取組 (第2回WS意見)	
地下鉄8号線が開通し、交通利便性に相応しい広域拠点が形成されたまち	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄8号線の開通と新駅の設置 住吉駅の交通利便性に相応しい生活利便施設の集積 日常生活圏に根付いた拠点があるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄8号線の開通、住吉駅・新駅周辺の機能強化：住吉駅までの地下鉄8号線延伸にあたっては、国や東京都、関係機関の事業化に向けた協議の進捗にあわせ、住吉駅前の低利用率な容積率を活用した商業や生活利便機能の誘導など、住吉都市核の機能強化について検討する 新駅周辺の拠点づくり：8号線に沿って、まちの骨格となる部分に拠点を形成し、メリハリがつけられたまちづくりを進める 商店街のリ・デザイン (緑日の復活、まちなみデザイン、ライトアップ)：かつて5がつく日に商店街で緑日をやっていて賑わいがあったように、商店街でテーマをつくって盛り上げていきたい→例えば下町らしい雰囲気でお店の外観をそろえる、アートを取り込む (美術館通り石島商店街)、街路灯などの照明を見直して夜も明るい空間にする、夜景づくり (ライトアップ) 美術館をテーマに、アートと連携した商店街の活性化：地下鉄8号線開通を機に、エリアが盛り上がる (人通りが多くなる) ことを見越し、出店のハードルを下げるソフト面の取り組み 	
美術館 (アート) とまちが連携し、賑わいが生まれるまち	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の特色を出す (ショッピングというテーマで人を呼び込めるまち) かつて毎月盛大な緑日のあった頃のような、商店街の賑わいを創出 美術館通り商店街という名前にふさわしいテーマを持った石島商店街に (清澄白河のような魅力ある商店街) 地域で力での活性化 		
災害・交通エリア情報の充実したまち		<ul style="list-style-type: none"> 水陸の移動の要でストックする情報の地域展開により、交通利便性と、地域の災害対応力を向上 帰宅困難者対応に優れたまち 	

住吉・新駅周辺

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見

・駅と商店街・まちを強く結び、来街者がどこに向かえば美術館などの観光スポット等に行けるのか、分かりやすいルート設定
・まちあるきを楽しめる回遊性をつくる (新駅からのアkses)

商店街のリ・デザイン (緑日の復活、まちなみデザイン、ライトアップ)

美術館をテーマに、アートと連携した商店街の活性化

- それぞれの商店街の特徴を活かした活性化
- 美術館通り商店街は現代美術館からは離れているため、「美術館通り」という名前にふさわしい取組が今はない。→名前にふさわしい商店街の活性化 (例えば、清澄白河でアートを取り入れた取組が行われている)

地下鉄8号線の開通、住吉駅・新駅周辺の機能強化 新駅周辺の拠点づくり

隅田川・内部河川		■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区 ※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見	
将来イメージ案	将来イメージ (第2回WS意見)	取組 (第2回WS意見)	
東京を代表する桜の観光名所、四季折々に賑わうまち (横十間川)	<ul style="list-style-type: none"> 水辺、川沿いの桜の魅力を活用し、四季折々に楽しめる観光名所となる 東京で桜といえば「江東区の桜」といわれる観光名所に (例：目黒川) 地域に緑日のように賑わいを創出する 水辺に親しめる空間整備とあわせて、水辺空間を人々が使える仕組みがある 	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の桜並木の居場所づくりとプロモーション：川沿いの桜並木の近くに、店やくつろぎの場の設置、夜桜のライトアップやドローンなどによる映像制作、プロジェクトにちなんだ地域共通のグルメの創出。四季に応じた観光名所、店舗などもあわせて、人が集まれる場所づくり。どの交通手段を使っても、どの駅を降りても楽しめる場所が歩いて行けるような、魅力ポイントが連続するまち 水辺の遊歩道など公共空間の利活用：遊歩道等の空間整備をするともに、水辺でイベントが行えるような仕組みを整える。地域の魅力・にぎわいづくりの担い手に対して、道路・公園・内水面などの公共空間の活用を認め、ポップアップショップなどのテンポラーな空間ユニットを貸し出す。 小名木川水彩フェスティバルの開催：川沿いの遊歩道に飲食店や物産展を出店。カヌー、ヨット、ティンギー等の体験を行う。クローバー橋のイベントとも協働。(小名木川のどのあたりか?) 	
災害・交通エリア情報の充実したまち		<ul style="list-style-type: none"> ローカル5Gによる地域の交通・災害情報発信：地域の生活者や来街者に対して、地域でストックする開門水位やサイクルポート等の貴重な情報をリアルタイムに発信。常時は区民の移動サービスを支援、災害時は屋外滞留者や帰宅困難者の安全・安心を確保 	

隅田川・内部河川

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区
※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見 紫字：OH意見

水辺の桜並木の居場所づくりとプロモーション

小名木川水彩フェスティバルの開催

特徴にあわせて憩いの場を形成
・ライトアップをしている場所 (千石1丁目)
・花火が見れる場所 (千石1丁目)

夏之橋 (いのほり) 橋
・桜がきれいな場所
・隅田川の花火大会が唯一見られる場所

・エリアの弱点は「水害」
扇橋開門 = 水辺のまちのシンボル
建設局が降水量のデータをストックしているが、区民には公開されていない
→ここから安全安心を発信できるように活用できると良い

エリア全体の連携

ローカル5Gによる地域の交通・災害情報発信 (扇橋開門の水位、サイクルポート利用状況等)

水辺の遊歩道など公共空間の利活用 (イベント、ポップアップショップ等による活用)

- 商店街とも関係した水辺の活用
- アートの活用

■第3回 自分のまちのプロジェクトをまとめよう

深川北部地区の将来ビジョン案 (WS最終案)

ワークショップで検討した4エリアの地区別将来ビジョンに基づき、深川北部地区全体の将来ビジョン案をとりまとめました。ビジョン案は今後、行政と調整し表現を精査する予定です。

伸びやかな緑地と歴史とアートとともに生きる
水辺の回遊性を活かした個性豊かなチャレンジするまち

エリア	エリア別の将来ビジョン案
清澄白河周辺・木場公園	<ul style="list-style-type: none"> 多機能な緑地や水辺空間等、公共空間の柔軟な活用にチャレンジするまち →木場公園に飲食店が立地、深川江戸資料館などでアートイベント開催など、公共空間の様々な活用にチャレンジできるエリア リノベーションされたカフェや個性的なお店が集積するまち 歴史文化・豊かな緑・アートの調和、個性的な店舗群によるまちあるきを楽しめるまち
森下周辺	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の個性と魅力の情報発信が進み、にぎわいのあるまち 鉄道、バス、自転車、舟運などの交通利便性が高く、住みやすいまち 江戸時代からの歴史名所が地域に根づくまち
住吉・新駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄8号線が開通し、交通利便性に相応しい広域拠点形成されたまち 美術館（アート）とまちが連携し、賑わいが生まれるまち
隅田川・内部河川	<ul style="list-style-type: none"> 東京を代表する桜の観光名所、四季折々で賑わうまち（横十間川） 災害・交通エリア情報の充実したまち

1

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区

※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見 橙文字：WS又はOHを基に事務局追加

深川北部地区の将来ビジョン (WS最終案)

伸びやかな緑地と歴史とアートとともに生きる
水辺の回遊性を活かした個性豊かなチャレンジするまち

エリア	エリア別の将来ビジョン案
清澄白河周辺・木場公園	<ul style="list-style-type: none"> 多機能な緑地や水辺空間等、公共空間の柔軟な活用が進むにチャレンジするまち →木場公園に飲食店が立地、深川江戸資料館などでアートイベント開催など、公共空間の様々な活用にチャレンジできるエリア →面的に（網の目状に）水辺でつながる リノベーションされたカフェや個性的なお店が集積するまち 歴史文化・豊かな緑・アートの調和、個性的な店舗群によるまちあるきを楽しめるまち
森下周辺	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の個性と魅力の情報発信が進み、にぎわいのあるまち 鉄道、バス、自転車、舟運などの交通利便性が高く、住みやすいまち 江戸時代からの歴史名所が地域に根づくまち
住吉・新駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄8号線が開通し、交通利便性に相応しい広域拠点が形成されたまち 美術館（アート）とまちが連携し、賑わいが生まれるまち
隅田川・内部河川	<ul style="list-style-type: none"> 東京を代表する桜の観光名所、四季折々で賑わうまち（横十間川） 災害・交通エリア情報の充実したまち

2

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区

※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見 橙文字：WS又はOHを基に事務局追加

伸びやかな緑地と歴史とアートとともに生きる
水辺の回遊性を活かした個性豊かなチャレンジするまち

第3回ワークショップ、オープンハウスにて、将来ビジョンに関連する意見を頂きました。

カテゴリ	意見
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> 賑わいや人々が訪れて楽しい。 駅からまちあるきを楽しめる、新しいモビリティ（e-Palette等）も活用して回遊できる。
文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> パラアートを取り上げてイベントを開催。多種多様に参加できるアートの企画。「のらくろ」を取り上げて漫画のイベントも実施されている。 障害のある方の作品展がいくつか行われている。のびのびと斬新な作品がたくさんある。 まちに展示をしていくようなイベント。アートを街に取り込んでいく。
安全・防災	<ul style="list-style-type: none"> 安全さの強みをPR出来るようになると良い。 防災面で水路を活用する。
まちの個性（水辺や緑）	<ul style="list-style-type: none"> 河川で区切られたエリアということが地域の個性。手漕ぎボートなどで回遊できる、観光を楽しむツールとして活用できる（浅草では人力車がゆったり観光できる移動手段） 水辺や緑の連続性、水辺をまちの資源とする 水辺の回遊性を活かした何度も訪れたくなるまち、水に恵まれたまち

3

■第3回ワークショップ「自分たちのまちのプロジェクトをまとめよう」 深川北部地区

※赤字：オンラインWS当日意見 緑字：オンラインWS事前意見+書面意見 紫字：OH意見 橙文字：WS又はOHを基に事務局追加

伸びやかな緑地と歴史とアートとともに生きる
水辺の回遊性を活かした個性豊かなチャレンジするまち

第3回ワークショップ、オープンハウスにて、将来ビジョンに関連する意見を頂きました。

カテゴリ	意見
高橋商店街	<ul style="list-style-type: none"> 高橋商店街は、戦前よそから人が来て賑やかだった。夜店通りは戦前の略称である。沿道の地権者が、商店をマンションに建て替えてしまう。深川は、中小零細の鉄工所も多かった。今はNCで自動化してしまい人の手を介さなくなった。 昔と比べて、商店街の活気がない。今後この通りをどうしていくか。エリアの活性化には、出張所の有無も影響する。 高橋商店街は日曜日に歩行者を開催中だが、ひとつこーいもないこともある。歩行者天国に店も出ていない。子どもも遊んでいない。もう少し人を呼び込む工夫をすればよいと思う。
空きスペースの活用	<ul style="list-style-type: none"> 丸八倉庫は、昔は水運を使っていたが、今はトラックしか使えないので、川沿いにある意味がなく稼働率も低い。屋上にフットサルコートがある。土地を買い上げて、広場やスケパーパークにすれば若者も来るのではないかな。
本祭	<ul style="list-style-type: none"> 3年に一度の本祭があり、次回はR6年に予定。次世代のため、お祭りを絶やさない努力が必要。子ども神輿は毎年開催しているが、今年はコロナでできなかった。 八幡様は数が多く盛大だが距離が長すぎて途中トラックで運ぶ。深川は数が少ないが、ルートをすべて担いで回る。来年の夏に、神輿や祭りができるかどうか。
扇橋開門	<ul style="list-style-type: none"> 排水能力が高く、扇橋開門のおかげで水害対策ができています。荒川決壊による砂町の被害は懸念されるが、深川までは被害が及ばないと考える。かつてはキャザリン台風で自宅浸水したこともある。
高橋乗船場	<ul style="list-style-type: none"> 日本橋は、船着場の管理を区から民間に移している。江東区も同じようにできないか。区が安心して民間に貸し出すために、管理組合を作ること、利用の開口を広げたい。中央、墨田、台東、江東で西区の水運ラインの活動をしている。高橋が、羽田、築地などの舟運ルートのひとつになれば、中川番所やスカイツリーラインも活性化される。

4

伸びやかな緑地と歴史とアートとともに生きる 水辺の回遊性を活かした個性豊かなチャレンジするまち

第3回ワークショップ、オープンハウスにて、将来ビジョンに関連する意見を頂きました。

カテゴリ	意見
持続可能な地域づくり (SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> 深川北地域活性化委員会として、町会を巻き込んだSDGsの地域の取り組みを進めている。都内23区のうち4区がSDGs認可を受けている。江東区も認可を受ければ、予算面など活動しやすくなる。 若い人が町会を通して参加できる仕組みとして、SDGsのテーマを掲げ、一緒に住みやすいまちをつくっていききたい。長年町で生まれ育った立場として、住み続ける人たちの気持ちも分かるし、若い人たちの接点も持っている。SDGsは三方良しの考えと類似しており、他者を優先する日本人の国民性と親和性が高い。 持続可能なかたちは御神輿、潜在的なお祭りのチカラである。3年ごとの盛り上がり、一体感が深川を作っている。若い人たちのパワーは、10年後、20年後に町会にも力になるので期待している。
森下商店街	<ul style="list-style-type: none"> 40ある商店街のうち20の商店街は活動していない。元気な商店街が各地に分散して10ほどあるので、それらを中心に、周辺の商店街も含め一体として活動すべき。 イベント等が一過性で消えてしまうのではなく、「持続可能」の意識を皆に持ってほしい。国、都の商店街とも関わりつつ俯瞰的に見る中でも、最も大事なものは地元である。 森下商店街は、お店が相互に協力しあう雰囲気があり、件数も40年間で7割入れ替わったが105件で変動しない。まちが寂れず、空き店舗が無いのは特筆すべき。20年前から、将来のマイナスを考え手を打ってきた。 イベントにサプライズと感動をどう組み込むか。若い人は、遊び心からイベントを発想しがちだが、欲から生まれたイベントは人が集まらない。ケンカや揉め事があると、まちも雰囲気が悪くなる。感動を生むためのイベントを行うと、自然にまちの雰囲気が良くなる。森下商店街は、空気の良さをモットーに運営してきて、穏やかに歩きやすいまちになっていると思う。

5

伸びやかな緑地と歴史とアートとともに生きる 水辺の回遊性を活かした個性豊かなチャレンジするまち

第3回ワークショップ、オープンハウスにて、将来ビジョンに関連する意見を頂きました。

カテゴリ	意見
清澄公園	<ul style="list-style-type: none"> 貯木場を公園にした。戦災で人が助かったのは水があったから。戦災の経験を踏まえ、父の提案で清澄庭園に水を流す設備を導入してある。避難場所でもあるので、災害時に備えてポンプで常時水を流す状態を復活させるべき。空襲では清洲橋の電信柱の根元まで燃えている。
商店街	<ul style="list-style-type: none"> 森下地区、白河地区の商店会が企画して、舟を使ったり、区の予算でイベントをやったりしてきた。 中小企業のチカラが落ちてきている。企業が力を持たなければ発展しない。スーパーができたことで、小さな商店が成り立たなくなっている。
歴史（新大橋）	<ul style="list-style-type: none"> 広重名勝江戸百景で最も有名な新大橋の浮世絵「新大橋あたけの夕立」の紹介をすべき。海外でも一番に紹介され、ゴッホも模写した絵である。 新大橋は震災復興で区画整理された。戦前から都市ガスが入っており、区内で最も古いエリア。 芭蕉記念館隣は、揚場といい、傳馬線が来た。新大橋一丁目、リンゴの唄で有名な、並木路子さんの実家があった。深川は大空襲で焼け野原になり、並木さんもお母様と隅田川に飛び込んで気を失って助かった。空襲でお母様は亡くなっているが、後日お母様の懐に入っていた松竹の給料袋で身元が分かったと自伝で読んだ。ぜひご自宅跡に、案内の看板を立ててほしい。 新大橋の跡にも、浮世絵レプリカと合わせて案内を出してほしい。
歴史（森下）	<ul style="list-style-type: none"> 新大橋一丁目のお祭りの法被は「あたけ」。あたけ丸が係留していたことにちなむ町名を入れている。消防は常盤町に最初で、その後移転した。 江戸時代の名前が続くのは森下だけ。道路を隔てて北森下町、南森下町に分かれていた。江戸時代からの古い住民もいる。 通りの名称は、萬年橋通りではなく、永代橋から本所まで続く一ツ目通りとすべき。墨田区本所側は一ツ目通りの名称を残している。江戸時代から一ツ目通りは赤穂浪士が新大橋を経由して泉岳寺まで歩いた道でもある。亀戸五の橋、五つ目通りまであった。
猿子橋	<ul style="list-style-type: none"> 猿子橋は鬼平犯科帳で最も有名なエピソード。昔は川が残っており、翌川、小名木川を繋ぐ六間濑に猿子橋があったが、すでに埋められている。区道なので、欄干でも掛けられるとよい。

6